

### 「前期を終えて」 PTA 会長 K・N

今年は「猛暑」という言葉を何度聞いたことでしょうか。ここ置戸町においても7月25日には38度を記録する「猛暑」となり、皆さんも大変な日々を過ごされたかと思います。

さて、置戸高校も令和7年4月の始業式から始まり、新入生14名を迎え入れた入学式、新たな先生方も加わって新体制での学校生活もあっという間に半年が経過しました。不安と緊張の中、入学した1年生も、置戸町の生活にも慣れてきた様子が伺えます。暑い中の学校祭や置戸人間ばん馬への参加、他の学校では体験できないことを、生徒達は経験して成長しています。後期には実習もスタートします。とても良い経験となりますので、体調を整えて休まずに実習に参加してください。2年生にとって前期は、許可テストに全力で取り組んだ日々だったのではないでしょうか。仲間と一緒に毎日遅くまで練習を行ったことでしょう。身についた所作は後期の実習にも必ず役立つはずです。今後の成長に期待しています。3年生は長期介護実習も無事終了し、残すは進路に向けた取り組みです。目標としていることに全力で取り組んで下さい。時間はあっという間に過ぎていきます。これからも悔いのない充実した高校生活を過ごしてください。

最後に、A校長をはじめ、置戸高校教職員の皆様、生徒に対し、指導・助言ありがとうございます。これからも悩んでいる生徒への心の拠り所として、温かく接していただけるようこれからもよろしくお願いいたします。そして置戸高校生徒を支援していただいている置戸高校支援対策協議会、校外活動等でお世話になっている置戸町の皆様、PTAを代表しまして深く感謝を申し上げます。今後も置戸高校へのご協力をよろしくお願いいたします。

## 「人間力を磨く」 校長 A・K

保護者の皆様及び関係者の皆様には日頃より、本校の教育活動に深いご理解とご協力をいただき心より感謝申し 上げます。

とは、申しましても、青春真っ只中、光り輝く高校生は、そうそう平穏な日々を過ごしてはいません。人生に波 乱はつきものです。時として、家庭で、お子様から友人関係の悩みや、学習・進路に関しての相談を受ける、そん な子育ての真っ最中ではないかと。そして、その子育てもあと1、2年のところまできている一抹の寂しさもある のではないでしょうか。

一方で保護者ご自身の高校時代と重ね、はてさて、私の高校時代は一体どうだったかなあと思いを馳せている方もいらっしゃると思います。私には三人の成人した子供がいますが、高校生の時は、その時々に、それぞれ友人関係で悩み、学習で心が折れ、部活動でヘトヘトの中、多くの失敗と挫折と少しの成功を経験したのだと思います。失敗や挫折を乗り越える、つまり臨機応変に対応し、自分の力で限界を超えた時に人は立ち直り大きく成長することを我が子から教わりました。困難な経験と成功を繰り返し、挑戦し続けることは自己成長する力を身につけるために必要な過程です。失敗したら取り返せばいいんです。失敗を恐れては何もできませんし、いいアイディアも生まれません。私は職場で、「プレスクラップ」という言葉を使います。挑戦しないのではなく、まずはやってみて、上手くいかなかったら止める、戻し再考する。そういう、ポジティブな考え方を示します。また、「ホウレンソウ」もよく使います。困難な状況を一人で抱え込まず、周囲に助けを求め他者との協力により、解決策を見つけることも大切な力だと思っているからです。

子供達には一つ一つの出会いの中で、人を思いやる気持ちを持って心豊かな日々を過ごし、その子供達の背中を 支え、押せるような PTA 活動を今後も継続していただけますよう、お願いいたします。

#### 「進路実現に向けて」 3年 S・K

私は介護福祉士になりたいと思っています。きっかけは私が中学3年生の冬でした。大好きな祖母が階段から落ちて転倒し、腰の骨を折ってしまい、私の家で介護をすることになりました。その頃はまだ今のように介護の知識がなく自分なりの介護をするしかなかったので、あまり上手にできたとは言えませんでしたが、祖母は優しい顔で「ありがとう」と言ってくれました。それがとにかく嬉しかったです。それから誰かのためにできる仕事はないかと探していたときに、中学校の先生がとある高校のパンフレットを持ってきてくれました。それが置戸高校でした。

私は今、介護福祉士になるために一日一日を大切に、勉強やクラスのみんなとの思い出を積み重ねている最中です。最終的には、クラスみんなで国家試験に合格し、自分の目指す進路に到達したいと思ってます。 頑張ります!















進路実現に向けて

## 進路指導主事

M · R

3年生は、7週間の介護実習が無事に終了し、9月16日(火)から再び学校での学びが始まりました。しかし、ほっと一息つく暇もなく、進路実現に向けて応募書類の記入や面接練習に励んでいるところです。さらに介護福祉士国家試験合格を目指して、一分一秒を惜しみながら日々を過ごしています。

9月16日(火)に行われた進路出陣式では、一人ひとりが進路実現に向けての意気込みを語り、N組の皆で 切磋琢磨しながら頑張っていこうという熱い気持ちを感じることができました。不安と緊張の中にも強い意 志があり、この3年間の成長を感じ取ることができた進路出陣式となりました。

3年生は、早い時期から進路意識を持ち、積極的に進学ガイダンスに参加したり施設見学に行くなど、主体的に取り組んできました。進路決定後も、この人と一緒に仕事がしたいと思ってもらえる人間性を磨くために、日々の学校生活に責任を持ち、行動していってくれることを期待しています。





## 《高体連》

初戦突破ならず でしたが、 どの部活も 頑張りました!!

#### 「置戸高校で頑張っていること」 2年 S・K

私たち2年生が福祉科生として頑張っていることは福 祉科と普通科の勉強の両立、そして学校生活です。将来、 福祉系の仕事に就職したり、大学に進学したりするため に福祉の勉強に取り組み知識を得て、実技では技術を学 んだりしています。また、普通教科の勉強もおろそかにせ ず、福祉とどのように繋げられるかを考えながら学んで います。学校生活では、学校祭や町の行事などに積極的に 参加し、協力し合うことの大切さを学んでいます。

僕は自分から話すことが苦手で、話しかけようとする と慌ててしまうことがあったのですが、実習や学校行事 を通して自分から話すことができるようになりました。

今、置戸高校で学んでいることを今後の学校生活や実 習で生かし、クラスのみんなと共に協力して取り組んで いきたいです。









#### 前期を振り返って 福祉科主任 0 · R

今年度前期を振り返ると、生徒は自身の課題と向き合い、真っ向からぶつかり、最後まで諦めない姿を見せ てくれました。その姿は大きな成長と周りの人に大きな影響を与えてくれました。今年度、北海道地区高校生 介護技術コンテスト当番校として出場選手だけではなく、3年生を中心とした運営生徒が司会から当日の運営ま で自分たちで行い、全校生徒での大会参加を行うことができました。全校生徒が力を合わせた瞬間だったと思 います。各学年長期実習や校内実技、施設見学、町内での福祉行事など悩むことやくじけそうなこともクラス の仲間、置戸町民の方々、各実習施設の職員の方々など多くの方の協力を力に変え、楽しみややりがい、課題 に立ち向かう気持ちなども養うことができた前期だったと思います。この生徒の頑張りを後期につなげ、国家 試験、校内許可テスト、初めての校外実習など大きな壁を越えてまた一つ大きく成長できる後期になればと考 えております。

# 令和7年度 北海道置戸高等学校PTA役員名簿

位 報	R	4	19	考
会 版			3	鲜
部 会 技 ※1毛は検疫療情を含む長が 単位			3	年
			1	痱
医事・指皮 ※おすも (1~2名)			3	q;
学年代表 (1年) 単新子年 (1-2年)			1	4
学年代表(2年) 単析主称(1~2年)			2	#
学年代表 (3年) ※85年8 (1~2年)			3	年
ME 1111			元会	長
			校	長
事務周長			教	m
校內理事			教	論
			飲	M
			atx.	M
2 It 2			水 粉	長

よろしくお願いします。	今年度お世話になる役員の方々と、会務計画で	

- m H H	- K	
R7. A/1011	自和工作化 大学者 (2)的企品和新	使开展的
N7.48000	STREET, PTARD, PTARRESPIRE, SERVING	$08.9^\circ \approx 6$
ACT, \$183.000	SINEAPTRY TARDOCKURED	(6; )(; (0)
E7. HR7-#H	CARAGORPTAROS (INTERESTINANTE)	06 W (H)
	OME AREA AROS	
6T. 6 (F. 21 ~ 22 ))	ROBETTARODAD (PROTESTALISAD)	C1 8.00
WT. AVEUED	STATE MINIPLANDS	08/11/00/0
87:391280	PTAMBO	(R // = 8
er, brigen	PTANES BISSORY	OVER THE
er. 1881 11 8	9年1年出版後後以外中日十五個公司及以上的時報公	00 M 30
	mark)	
17.21	当年下後・第3回と下水田島の	dinas
et. 101111	##0000################################	使开放的
17, 31(1)(	PTANA MINARM	00.0079080
ET: AT	SHITE EMPTARED	OR FEET

#### 「置戸高校へ入学して」 1年 I・M

私は高齢者や障害をもつ方の役に立つ仕事がしたいと思い、福祉を学ぶため置戸 高校に入学しました。入学してから今日まで、私たちは福祉についてたくさんのこ とを学んでいます。

入学したばかりの頃は、先輩方を見て「早く生活支援技術や介護総合演習のよう な実践的な授業をしたい」と思う毎日で、そんな声が周りから聞こえてくることも ありました。ですが、福祉について学んでいくうちに、しっかりと知識を身につけ てからでないと、その状況や場面に応じて行動することはできないのだと気づきま した。

私たち1年生は、まだ先輩方のような実技の授業は受けていませんが、その実技 や11月の実習に向けてたくさんの知識を学んでいます。挨拶や礼儀など、当たり 前のことを当たり前にできるように意識しながら生活し、夢に向かってこれからも 頑張っていきたいです。













#### 「ポジティブな思い込みと笑顔を大切に」

1学年代表 I・H

春の入学から早くも数ヶ月が過ぎ、自分なりのペースで前に進む姿に感慨深い 思いで日々を見守っています。

中学生の頃は、自分自身の気持ちや葛藤と向き合う日々が続きました。進路に 悩み考える中で、「人の役に立ちたい」という将来の目標を見据え置戸高校の受験 を決めました。今では日々同じ志をもつクラスメイトや温かい声かけをしてくれ る先輩方、支えてくださる先生方と過ごす中で、多くの刺激を受け吸収しながら 前向きに過ごす様子に頼もしさも感じています。

これからの3年間で技術や知識を学ぶことはもちろん、協同して物事に取り組 むこと、また自分以外の人の視点や考え方を尊重し、自らの糧として蓄えること で、生きる力に結びつけてほしいと思います。楽しいこと嬉しいこと、その反対 に辛いこともあると思いますが、「この出来事には何か意味がある」とポジティブ に捉え、笑顔を大切に過ごしてほしいです。そして今と変わらずキラキラとした 眼差しのまま、次のステップに進んでくれることを願っています。



















